

令和4年1月5日

会員各位

鎌倉市医師会 会長 山口 泰  
鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター担当 副会長 宮下 明

## 研修会開催のお知らせ

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当会への格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、当会では地域在宅医療推進事業の一環として、在宅医療と急性期病院のかかわりについてのウェブ研修会を開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。

今回は湘南鎌倉総合病院の山上先生と熊谷先生をお迎えし 2 部構成で行います。

コロナ禍の中ではございますが、ぜひご参加を賜りたく、当研修会をご案内申し上げます。

研修参加ご希望の方は別紙に必要事項をご記入いただき FAX にて送信、または QR コードからお申込みください。

問い合わせ先

鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター

電話：0467-81-3597

FAX：0467-81-3695

(平日 9：00-17：00)

# 研修会開催のお知らせ

在宅医療と急性期病院は切り離して考えることができない関係性にあります。在宅医療では肺炎や胆嚢炎の疑いがあっても（出来るだけ在宅でという思いから）、ギリギリまで対応し搬送しているのが現状だと思います。そんな在宅医の思いとは裏腹に、急性期病院の先生方はもう少し早く来てくれればと思うこともしばしばではないでしょうか。今回は鎌倉市の急性期医療を担っていただいている、湘南鎌倉総合病院 救命救急センター長の山上 浩 医師と総合診療科 医長の熊谷 知博 医師による2部構成の講演会で在宅医療について考えてみたいと思います。

## 開催日時

1月31日(月) 19:00~20:30  
(質疑応答含めて70分程度)

## 開催内容

### 「救急医と在宅医の連携で、急性期在宅体制を」

講師：山上 浩 先生

医師の働き方改革で、医療の需要供給ミスマッチが生じ、救急医療はさらに集約化が進むでしょう。急性期病院のみでは入院をカバーできない時代が到来し、急性期疾患を在宅でみる「急性期在宅」体制を構築するため、在宅医と救急医とのさらなる連携が必要になると考えています。

### 「総合診療科の活動紹介、地域における在宅診療への展開」

講師：熊谷 知博 先生

2018年より、湘南鎌倉総合病院に総合診療科が立ち上がりました。従来の入院・外来診療に加え、より地域に密着した、住民の方々にとって真に必要とされるような医療活動を目指しています。まだまだ新しい診療科ですので、①我々の活動内容について、②在宅医療に対する病診連携について、お話をさせていただきます。

## 対象

医療職

## 開催方法

Zoomを使用したオンライン講演会

## 参加申し込み

先着：80名

申し込み締め切り：1月23日(日)必着

別紙申込書に必要事項を記入しFAXしたいただくか、右記QRコードまたは、URL：<https://qr.paps.jp/VUDKq>より申し込みしてください。



講師：山上 浩 先生  
湘南鎌倉総合病院  
救命救急センター長  
日本救急医学会 指導医



講師：熊谷 知博 先生  
湘南鎌倉総合病院  
総合診療科 医長  
日本プライマリ・ケア学会  
認定家庭医療専門医・指導医



主催：公益社団法人 鎌倉市医師会  
共催：湘南鎌倉総合病院

**F A X送信先：0467-81-3695**

**鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター**

研修会に関するお問い合わせはTEL:0467-81-3597（平日9：00-17：00）まで

**申し込み締め切り：1月23日(日)必着**

1月26日(水)にご記入いただいたアドレスへ、1月28日(金)に行うお試し接続会のお知らせと、1月28日(金)に研修会当日のご案内などをメールでお送りいたします。

- \*1台の端末で複数名の方がご参加いただく際は、おひとりずつ個別に氏名(ふりがな)・職種をご記入いただき、メールアドレスは代表者のみご記入ください
- \*同じメールアドレスで複数名が各々別端末からご参加いただく場合は、同じメールアドレスを各自ご記入ください

事業所名	
電話番号	

ふりがな 氏 名	
職 種	
メールアドレス	

ふりがな 氏 名	
職 種	
メールアドレス	

ふりがな 氏 名	
職 種	
メールアドレス	

ふりがな 氏 名	
職 種	
メールアドレス	

主催：公益社団法人 鎌倉市医師会  
共催：湘南鎌倉総合病院